



第 1 4 期定時総会（研究報告）

リバーテクノ研究会 減災WG活動報告

2022年11月9日

減災WGリーダー 天野光歩

副リーダー 小澤宏二

副リーダー 飯田進史

第13期活動成果

- 水防災技術ポータルサイトの公開へ向けた活動

中小河川でも使える水防災に関する技術情報集ver1.ver2

ポータルサイトプロトタイプ構築

各企業等への製品・技術の**掲載許諾確認**作業

ポータルサイト公開（2022年10月）

減災WG会員会社が持ち回りでヘルプデスク対応
（ヘルプデスク運用手順策定済）

第13期活動成果

(1) 水防災技術ポータルサイトの公開へ向けた活動



一般社団法人リバーテクノ研究会・減災WGがこれまで取組んできた研究成果を、河川防災の現場で広く活用する視点から、水防災技術の普及促進のためのポータルサイトを構築しました。
水害版BCPの検討支援として、ユーザが実際の利用場面に沿って“適用可能な技術情報”をみることができる、マッチングシステムです。

水防計画 を作成したい方	避難確保計画 を作成したい方	水害版BCP を作成したい方
------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

利用場面

水防計画の作成・実行

対象ユーザ

水防管理団体（市町村、水防事務組合）

利用場面

避難確保計画の作成・実行

対象ユーザ

要配慮者利用施設管理者、地下空間管理者、大規模工場等

利用場面

水害版BCPの作成・実行

対象ユーザ

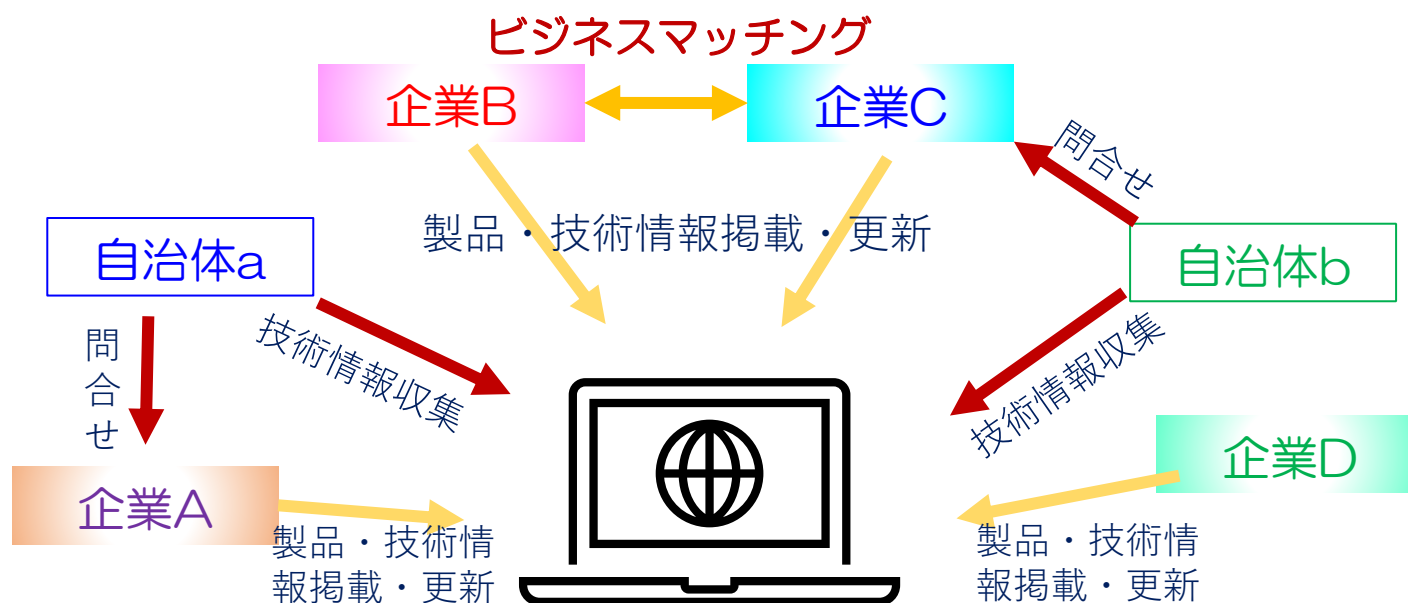
ライフライン関連企業、地域雇用を支える企業、水害危険物を取り扱う企業等

http://rirt.or.jp/portal_suibou/

第14期活動計画

(1) 水防災技術ポータルサイトを活用した展開

①技術やビジネスマッチングの検討



RRT 一般社団法人リバーテクノ研究会
Research Institute of River Technology

水防
計画

を作成したい方

避難確保
計画

を作成したい方

水害版
BCP

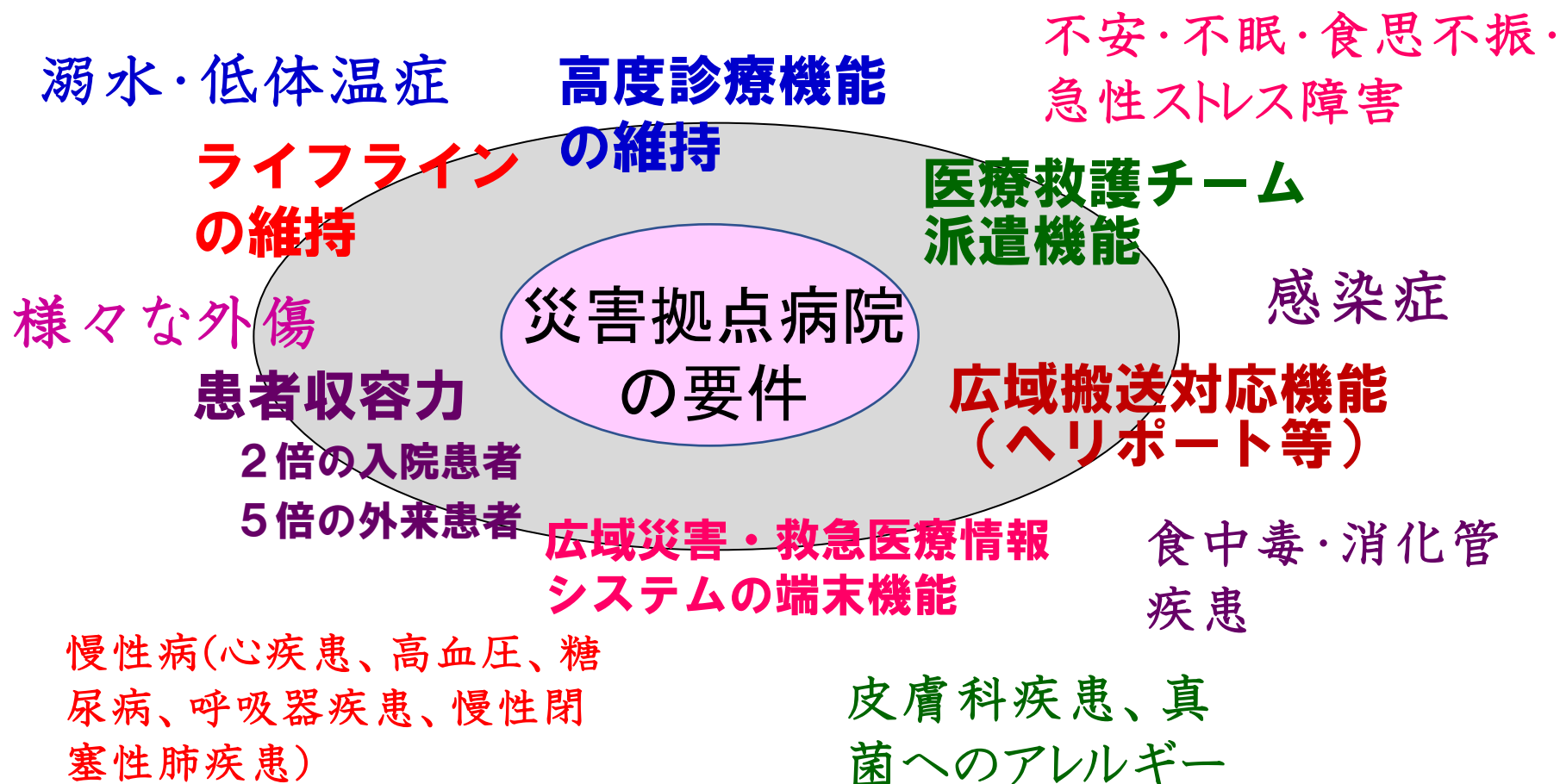
を作成したい方

②水防災技術ポータルサイトのユースケース検討（1/3）

	ユースケース	サイトの使い方（課題含む）
いであ	・ 自治体防災担当者 ：流域治水対策メニュー選定の一環	浸水防止施設の種類、製品の検索、浸水防止効果の把握、 概算費用の確認 等
東京建設C	・ 自治体防災担当者 ：浸水常襲地区の排水対策の検討、立案 ・ コンサルタント	「排水対策」の用途の場合に入口がわかりづらい
八千代E	・ 自治体防災担当者 ：水防訓練／水防災訓練 計画検討	情報取得/情報伝達の手法や技術、水防活動や浸水防止活動の技術、修復技術を確認して、訓練計画に活用
建設技研	・ 自治体防災担当者 ：企業・住宅耐水化メニューの事例提示	対象となる水害の確認・直接的な被害想定の確認・浸水対策の検索・浸水対策設備の検索
建設技研	・ 企業防災担当者 ：サプライチェーンBCP	予想される水災害に対してサプライチェーンを構成する拠点・ネットワークを維持するための商品・技術・ 相談相手 の検索
パシフィック	・ エリアマネジメント組織 ・ 総括防災管理者（代表企業） ・ オフィスビル管理会社 ・ 大規模工場 ・ マンション管理組合／管理会社	想定 ハザードの確認から対策立案までの一連の検討 で活用 →消防計画（消防法）や事業継続強化計画（中小企業等経営強化法）、自衛水防（水防法）など各行政サイトからのリンク必要
ニュージエック	・ 地域の防災組合：自衛水防	浸水被害を防止または低減する方法を探す → 総目次、選定フロー が必要
日本工営	・ 教育現場（学校等） ・ マンション管理組合 ／個人住宅	専門用語の認識が難しい方のために補足説明を付記するとよい

②水防災技術ポータルサイトのユースケース検討 (2/3)

災害拠点病院の災害リスクの洗い出しに基づく対策 (検討イメージ)



②水防災技術ポータルサイトのユースケース検討 (3/3)

災害拠点病院の災害リスクの洗い出しに基づく対策 (検討イメージ)

台風通過による強風時に患者搬送のためのヘリポートは機能するか？

生活系、検査系、感染系、人工透析系、ボイラー系の排水機能をどう確保するか？

製剤、カルテ、高額医療機器(X線室、MRI室、CT室等)、滅菌施設、人工透析室の水損防止対策は？

電力・通信の回線をどう確保するか？

浸水すると駐車場や1Fロビーは使えない。トリアージスペースをどのように確保するか？

非常用発電機、備蓄物資、電力設備、ガス設備、飲料水・雑用水設備、医療ガス設備をどう機能発揮させるか？

第14期活動計画

(2) 顧客のニーズ発掘（アフターフォローヒヤリングの継続）

【三角水のう等の販売先へアフターフォローヒヤリング項目】 **実施中**

1) 使用目的・保管状況

2) 使用実績

- ① 使用日・洪水名（台風名等）
- ② 対象河川
- ③ 保管場所からの移動・運搬方法、移動時間
- ④ 三角水のう・水源（注水）・電源の確保方法
- ⑤ 設置作業に要した時間、人員
- ⑥ 従来工法（土のう等）と比較（作業効率の改善など）
- ⑦ 現地作業を行う上での支障、課題
- ⑧ 機能性の改善等の要望（用途、作業効率性、規格・性能等に関すること）
- ⑨ モバイルレビー（可動性・移動性のある堤防や止水板等）の新たな展開の可能性

等

アフターフォローヒアリング、アンケート中間報告

- ・ モバイルレビー（三角水のう）の納入先17箇所を対象にアンケートを実施
- ・ 9箇所（国4、自治体3、民間2）から回答、一部ヒアリングも実施

【アンケート・ヒアリングの結果】

- ✓ 使用実績あり：1箇所（民間企業、工場の浸水防止に使用）
- ✓ 使用実績なし：8箇所（内1箇所：水防演習での使用実績あり）

使用していない理由

- ・ 存在を知らない
- ・ 使い方が分からない
- ・ 土のうに慣れている
- ・ 効果が分からない
- ・ 使用場所が限定される（水源・電源確保）

【課題と今後の対応】

- ✓ 納品時には実演による使用方法や効果の説明等を実施しているが、**納品先では担当者の引継ぎが不十分**であり、「**存在や使用方法もわからない**」ケースがある。
- ✓ 三角水のうの普及を図るには、**定期的なフォロー**が必要である。今後の対応としては、使用方法や効果についての継続的なフォローはもちろんのこと、**効果的な使用方法に関するコンサルティング**（使用場所、保管場所、水源確保等）の取り組みも重要と考える。

ご清聴ありがとうございました